

西尾市の農業施策に関する要望書 項目一覧

【1】JAの「地域農業ビジョン」の尊重と施策の支援、西尾市の農業施策に関する体系的な計画の策定

【2】生産規模の維持拡大・コスト削減に向けた支援

- (1) 遊休農地対策および生産規模拡大にむけた農地の基盤整備
- (2) 雑草対策・害虫駆除補助事業の拡充

【3】新規・若手就農者への補助・サポート体制の拡充

- (1) 新規就農、定年帰農者の農地取得のサポート
- (2) 新規就農準備金等の新規就農者向けサポートの制度の維持拡充

【4】佐久島振興における農業分野での支援

- (1) ノートリア駆除に向けた取り組み
- (2) 島内への農産物・加工品の販売店設置、サツマイモ貯蔵設備の設置

【5】都市農業振興基本法に基づく地方計画の策定、施策の実施

- (1) 都市農業振興基本法に基づく地方計画の策定
- (2) 生産緑地地区の下限面積の引き下げと追加指定
- (3) 特定生産緑地制度の対応

【6】行政・商工業との連携による農業振興とPR

- (1) 西尾市主催イベント（物産展・産業フェアなど）における市内産農産物の積極活用、農家参加による6次産業化商品のPR
- (2) 西尾市民病院への生花持ち込みの許可

【7】食農教育活動・花育活動の拡大・充実

- (1) 食農教育活動の推進、学校給食の充実
- (2) 花育活動と花き需要拡大のための取り組み
- (3) 愛知の農業に関する授業の実施・拡大

【8】対外関係における農業情勢について、国・県への働きかけと、市独自施策への取り組み

【9】西尾市住民の「地域農業の応援団」化に向けた取り組みの支援

- (1) 西尾市の住民に対する「地域農業の応援団」化に向けたJAの施策の支援・独自の取り組み
- (2) 憩の農園を核とした福地南部地域の活性化にむけた施設整備への協力

JA西三河と西尾市 連携した農業振興 ～1市1JAの特色生かし、協力して「西尾の農業」振興～

■JA西三河と西尾市

JA西三河は西尾市を管轄とする総合JAです。組合員約30,000人は、愛知県内にある20JA中では中規模に位置します。

JAの特色のひとつとして「JAの管轄する地区と、行政（西尾市）の区域が一致していること」があり、西尾市と密接に連携しつつ、協力して西尾市の農業振興に向けた取り組みを行っています。



■食農教育活動

JA西三河は西尾市の小学校と連携し、「米づくり体験授業」と題した食農教育活動を展開しています。

「米づくり体験授業」は、JA主体では平成21年度（個別の活動としては昭和58年度）から継続して行っています。開始から10年目を迎え、児童に限らず小中学校の教育関係者・地域の農家・地域住民・PTAや保護者の参加の輪も広がり、広く市民になじみのある親しみある行事として定着しています。

平成30年度は市内18の小学校で、①田植え、②かかしづくり、③稲刈り、④収穫祭を主に行いました。また各小学校では、田んぼアートづくり・泥リンピック・観察記録づくり・バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。

毎年度末の3月頃には、食農教育活動に関する意見交換会を開催しています。学校・農業指導者・JA支店の全関係者・行政機関の担当者などが一堂に集まり、感想を共有し、次年度への改善、継続に向けて意識の共有を図っています。

写真上＝「米づくり体験授業」の田植え（6月）

写真下＝「米づくり体験授業」の稲刈り（10月）



■佐久島振興に向けた取り組み

佐久島の島民団体「島を美しくつくる会」とJA西三河・西尾市は、「サクのいもプロジェクト」と題して、佐久島でのサツマイモの生産・加工品作りと観光客向けの販売に向けて平成29年度より活動しています。

観光振興を島民収入につなげ、島の経済活性化とともに、魅力PRを通じた定住拡大を行うことが狙い。

平成30年度は、佐久島クラインガルテンの圃場での試験栽培のほか、島民による栽培を行いました。JAは、サツマイモの栽培計画作りと苗の調達、島民への栽培の普及と栽培指導を行い、10月には1.2トンを収穫。このサツマイモはJAが買い取り、市内の醸造会社である(株)相生ユニビオにより芋焼酎へ加工されています。

この芋焼酎は4月に販売開始の予定です。

写真上＝佐久島店でのサツマイモ集荷作業（10月）

写真下＝試作品の芋焼酎の試飲会（5月）

